

平成 22 年度まちづくり基礎調査・研究  
大型動物導入に関する基礎調査における北欧動物園調査結果【概要】

円山動物園の魅力さをさらに向上させるためには、市民の導入要望のあるゾウの導入の可能性を検討する必要がある。そこで、ゾウを導入すると仮定した場合の諸課題及び対応方策について、海外の動物園（欧州）の施設事例を今後の円山動物園基本計画見直し時の参考とするよう、基礎調査を行った。

（掲載している数字は断りのない限り調査時点のものです。）

## 1 調査期間

平成 22 年 10 月 22 日～30 日

## 2 視察先

寒冷地であり、近年までに施設改修を行うとともに間接的な飼育方法を採用し、繁殖を進めている先進的な動物園のゾウ舎の視察を行った。

- ・イギリス チェスター動物園
- ・アイルランド ダブリン動物園
- ・ドイツ ケルン動物園
- ・デンマーク コペンハーゲン動物園

## 3 視察概要

### 1) イギリス チェスター動物園

#### a 全体規模

動物園の総面積は 44.5ha、年間入園者数は 1,233 千人。

哺乳類 79 種、鳥類 155 種、は虫類 52 種、両生類 24 種、魚類 80 種、無脊椎動物 32 種を飼育している。

#### b ゾウ舎の状況

1949 年に専用のゾウ舎を建設。1980 年代より本格的な群れ飼育を目指して施設の改修を順次続けてきた。改修の完成年は屋内が 2000 年、屋外が 2006 年。（屋内 1800 m<sup>2</sup>、屋外 6700 m<sup>2</sup>）

- ・特徴—屋内・屋外とも砂を入れている。間接的な飼育用トレーニングエリアを設けている。
- ・繁殖—1960 年代に雌複数、雄を導入し 1977 年に初めて 1 頭生まれたが、他 1 頭は出産後すぐに死亡した。1977 年～1993 年に 3 頭、改修開始後に新たに個体を導入した 1994 年以降～2005 年までに 9 頭、改修完成後の 2006 年から現在までに 3 頭の繁殖・成育に成功している。

#### c 現在の飼育数

現在、合計で 6 頭を飼育している（雄 1、雌 5）

### 2) アイルランド ダブリン動物園

#### a 全体規模

動物園の総面積は 30ha、年間入園者数は 931 千人。

哺乳類 47 種、鳥類 35 種、は虫類 23 種、両生類 2 種、無脊椎動物 8 種を飼育している。

#### b ゾウ舎の状況

旧ゾウ舎は 1950 年代の建設。2004 年から 2009 年にかけて全面改修をした。

（屋内 740 m<sup>2</sup>、屋外 9220 m<sup>2</sup>）

- ・特徴—屋内・屋外とも砂を入れている。改修に伴い間接的な飼育法に切り変えトレーニングエリアを設けている。屋内にも散水施設を設けている。屋外のプールは徐々に深くなる構造で一番深い場所は5mとなっている。
- ・繁殖—以前は雌のみの飼育であり繁殖はしていない。改修後に他の動物園から妊娠した雌が導入され、2007年に1頭、2008年に1頭ずつ生まれ、成育に成功している。 今後は成雄ゾウの施設を建設予定。

### c 現在の飼育数

現在合計で5頭（雄1・雌4）※を飼育している。 ※2012年7月現在

## 3) ドイツ ケルン動物園

### a 全体規模

動物園の総面積は20ha、年間入園者数は約1,495千人。

哺乳類72種、鳥類173種、は虫類86種、両生類42種、魚類235、無脊椎動物126種を飼育している。

### b ゾウ舎の状況

群れ飼育を目指し2004年に全面改修し、屋内5000㎡、屋外15000㎡とし広くし、砂等を敷き詰めた。改修に伴い間接的な飼育法に変更している。

- ・特徴—屋外・屋内ともプールを設けている。動物園の敷地の10%をゾウの施設で占めている。
- ・繁殖—ゾウの飼育は100年ほどになるが、以前は雌のみの飼育で繁殖はなかった。改修後に順次雌7頭・雄2頭を導入しており、これまでに5頭の出産、成育に成功している。

### c 現在の飼育数

現在は合計で14頭を飼育している。

## 4) デンマーク コペンハーゲン動物園

### a 全体規模

動物園の総面積は11ha、年間入園者数は約1,394千人。哺乳類67種、鳥類90種、は虫類53種、両生類29種、魚類18、無脊椎動物54種を飼育している。

### b ゾウ舎の改修状況

旧ゾウ舎は1910年代に建設したが、飼育面積が狭く十分な運動ができていなかった。

2008年に群れ飼育を目指し、全面改修を行った。（屋内3500㎡、屋外3300㎡）。

改修に伴い間接飼育法に変更している。

- ・特徴—屋内はガラスの天井で採光を考慮していること、屋外放飼場がスロープになっているので平地に比べてゾウの運動量が大きく筋肉の発達に良いものとなっている。雄ゾウの専用舎がある。ゾウの生態・歴史を解説した博物館機能が充実している。
- ・繁殖—全面改修前にも雄・雌がおり繁殖はしていたが、十分な運動ができていなかった。

### c 現在の飼育数

5頭（雄2・雌3）を飼育しており、改修後の現在、雌2頭が妊娠している。※

※2012年7月現在

### ◆チェスター動物園



右手前は、母親と赤ちゃんゾウ。

屋外プール

屋内施設 (ゾウが横たわった跡)

### ◆ケルン動物園



屋外プール (深いところで3m以上)

屋内施設：手前が屋内プール

### ◆ダブリン動物園



プールの中で運動もする。水は循環式。

屋内に散水設備を設けている。

トレーニングエリア

### ◆コペンハーゲン



ガラス天井による採光

屋外のスロープ